

アイテム

アートな伊丹を「観る・行く・体験」

アイテム

2014.7-9 夏号
公益財団法人 伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

伊丹は 未来を 育てる

特集
舞台芸術を次世代に
伝えていくということ。
アイホールと
いたみホールの
取り組み



本で解決!
お悩み
相談室

パートナーがほしいです…。
寂さを埋めるには
どうすればいいですか?

(茶屋町をうろつく30代OLさん)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで!



本のことなら
おまかせ!
みなみさん

みなみさんの
オススメ本



「コンカツ?」
石田衣良・著
(文藝春秋)

ピッタリのパートナーを見つけるってなかなか難しい事ですよ。一体王子様はどこにいるのかしら。この本にもそんなパートナーを見つけるべく奮闘する4人の女性が出てきます。まったくタイプの違う4人、みんな運命の相手が見つかるといいのだけれど…。あなたのベストパートナー、案外近くにいるのかもしれないよ。

オレがパートナーになるぜ! って言ったらねえちゃんに本気でぶたれて凹んでるオレがすすめる本はコチラ。犬や猫を飼いたいけどうちの事情で無理って人や、そんなに手間暇かけられないって人にもおすすめ。ホッと一息ついたらさ、パートナーを探しに行こうぜ! 帰ったらかわいいペット植物が待ってるんだしさ。

ぶんたくんの
オススメ本



「育てて楽しむペット植物」
山根健治・監修
(家の光協会)



図書館大好き!
ぶんたくん

ラストホール1Fの図書館
伊丹市立図書館 南分館

南野2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム
2014年7月1日発行(季刊夏号・通巻80号)
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団
編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
いたみホール(伊丹市立文化会館)内
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/
e-mail itami-kikaku@ccb.bai.ne.jp



美術館「ピネッテ・シュレーダー 美しく不思議な世界」
(7/5(土)~8/31(日)) 5組10名様 ※締切/7月25日
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、
上記、文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。
! 当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまえ
文化の郷
美術館
工芸センター
伊丹郷館
補衛文庫

伊丹は 未来を 育てる

特集

舞台芸術を次世代に
伝えていくということ。
アイホールと
いたみホール
の
取り組み

取材・文／平井和哉 (0.1knot)

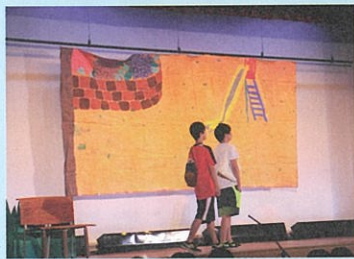
文化のまち・伊丹。
だから、できること。

そもそも本誌は「伊丹市文化振興財団」が発行し、財団に所属する各施設が行うイベントや活動を通して、伊丹で行われている文化活動を発信するものだ。だから、各館が「外に向かって」活動して

いることは発信できているが、それ以外の事業についてはあまり発信できていないのが現状だ。

そこで今回特集として取り上げるのは「アイホール」が平成19年から行っている県立伊丹高校での演劇指導。そして「いたみホール」で行っている伊丹小学校の児童を案内する舞台裏ツアーである。いずれも不特定多数の人に「発信」するものではないが、伊丹の文化力のこれからを担う若年層に対しては圧倒的な影響力を与える取り組みである。どんなことが行われているのかは次ページ以降、写真を中心に紹介していく。それらを見れば一目瞭然だが、実に意義深く、参加する生徒たちの表情もいきいきとしている。

もちろんこうした活動を行っているのは上記に挙げた施設だけではなく、どの施設でも積極的な展開を見せる。さらに伊丹には自前のオーケストラがあり、市民オペラのパイオニアでもあり、「オトラク」などの市民と近い距離で音楽が楽しめるイベントも増えてきた。それもこれも、こうした文化施設の草の根的な活動が役割のひとつを担っているのは間違いない。そしてそれを体験した子どもたちが、次世代の担い手になってさらに文化レベルを高めていくのである。まち全体で行う「文化教育」。それは、これだけの施設が整う伊丹だからできること。これだから、伊丹の文化事業からは目が離せない。



アイホール／県立伊丹高クラス劇指導

県立伊丹高校で1970年より開催されている文化祭「ヤングフェスティバル」は、3年生全クラスが創作劇に取り組む伝統ある行事。アイホールでは、この文化祭に向けて「総合的な学習の時間」の授業において4月から6月の間、プロの演劇人を派遣し演劇指導を行っている。各クラスとも生徒創作の台本・演出で発表する本番は、その集大成としてかなりのハイレベルな劇が上演される。このページでは、今年行われたフェスティバルの様子を紹介。次ページでは、生徒たちの本番を裏側から支える指導の様子をご披露しよう。

台本



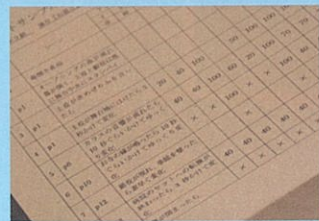
講師陣はあくまで「アドバイス」をする立場。最終決定権は生徒が持ち、自分たちの手で、こういった台本が作られる。練習を重ねていくにつれ、少しずつ手が加えられ、精度の高いものになっていく。

▶自分たちが盛り上がるコツはさすがに心得ている。

このキノコの衣装も、もちろん手作り。クラス内で、衣装や大道具・小道具などの担当が決まっていて、それぞれが本番までに仕上げる。台本の内容が少しずつ変わったり、演出が変わったりするので、稽古の時から各担当はしっかりと台本を読み込み、役者の動きもチェックする。



衣装



照明・音響

照明や音響の担当者は上の写真にあるような、それぞれのきっかけが書き込まれた台本をつくり、役者の動きにあわせてシミュレーションする。



▲音響が入ると、俄然、本番のイメージが湧いてくる。

現代演劇・ダンスの中心地

アイホール

伊丹 2-4-1 ☎072-782-2000

特集

伊丹は 未来を 育てる

舞台芸術を次世代に
伝えていくということ。

アイホール/
県立伊丹高クラス劇指導

ヤングフェスティバルに向けての稽古の様子

講師陣



生徒たちを指導するのは、関西で活躍する劇作家・演出家・俳優6名と、アイホールのスタッフ3名。各クラス2名の講師が、4月から約2カ月の間、アドバイスや指導に当たる。全員でクラスごとの進捗状況を確認するミーティングも楽しげだ。



指導

取材を行ったのは本番の10日前。進み具合や完成度に応じて、講師陣はアドバイスを入れる。生徒たちの表情も、本番近しというだけあって、真剣そのものの。



▲プロの演出に生徒が圧倒されることもしばしば。

さてお次は
照明・音響の
お部屋へ！



テレビに出ているような
有名人も使用している
楽屋に潜入。



あつと言う間に
終了！
また遊びに
来てね！

見たこともない
機械がいっぱい！
特別な装置以外は
自由に触らせてもらえる。
自分の触ったスイッチで
照明の色が変わったり、
舞台上の音声が聞こえてくるなど
とても貴重な体験！

伊丹未来を 育てる

特集

舞台芸術を次世代に
伝えていくということ。

いたみホール／舞台裏ツアー

体験型舞台裏ツアーってなに？

従来、伊丹小学校の授業の一環として行われていた大ホールの見学に、地域協働事業としていたみホールも主体的に関わろうという趣旨で、平成21年より「舞台裏ツアー」として、普段は見ることのできない楽屋や照明・音響室などを案内している。毎年2年生の児童が参加。同様の事業を「伊丹アイフォニックホール」でも行っている。



到着～

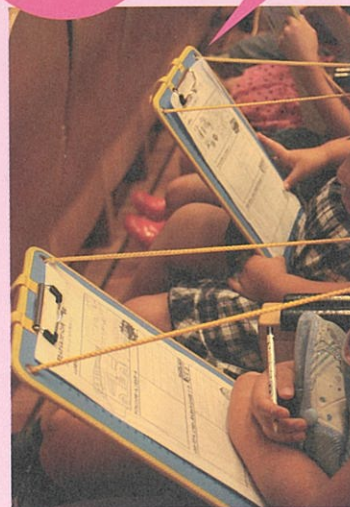
いよいよ
大ホールの中へ！
ドキドキ



スタッフから
大ホールに
ついての説明。
児童たちからは
たくさんの質問が！

聞いたことは
すぐにメモ！

普段は客席からしか
見ることのない
舞台上で
児童たちは大コーン！
マイクを使うことも体験





ビネッテ・シュレーダー「わにくん」

画像：「わにくん」より「ソフィーさんをひとのみする」1974-75年、ガッシュ・水彩・紙

今年75歳となるドイツの絵本作家ビネッテ・シュレーダーは、『お友だちのほしかったルビナスさん』をはじめ数々の名作を生み出し、子どもから大人まで日本にも多くのファンがいます。透明感のある色彩を塗り重ねた幻想的な情景と、どこかシュールで独特な世界観が特徴で、みる者を物語へと誘い込みます。なかでも代表作とされる絵本『わにくん』は印象深い作品です。

ナイル川に住む「わにくん」がパリに「わにの店」があると聞き、旅にでます。しかしそれがワニ皮製品の店だとわかり、悲しみと怒りから売り子のソフィーさんをひとのみし、商品を奪って帰ります。その後、ナイル川にはお洒落なワニがたくさん見られたというお話。

学芸員日々是 作品随想

伊丹市立美術館 学芸員／岡本 梓

「ビネッテ・シュレーダー 美しく不思議な世界」

7月5日(土)～8月31日(日) 10時～18時(入館は17時半)
月曜休(7/21は開館、翌22日は休館)、一般800円、大高450円、中小150円



チケット
プレゼント！
※詳細は
最終ページにて

諷刺とユーモア

伊丹市立美術館

宮ノ前 2-5-20 ☎072-772-7447

夏休みの テッパンイベント

昆虫と自然とヒトの エトセトラ

伊丹市昆虫館 学芸員／田中良尚



今年の特別展でとりあげる昆虫は、みんなが大好きな「カブトムシ・クワガタムシ」。みんなどれだけの種類を知ってるかな？なんと世界にはカブトムシは約1300種、クワガタムシは約1500種もいるんだ。この中にはよく知られている大きくカッコいいものばかりではなく、どう見てもヘンテコな姿のもの、体長が1センチメートル以下の小さいものなどあり！

どあまり知られていない種もたくさん。そのさまざまなかたちは、地球上のさまざまな自然環境そのものといってもいいくらい！

特別展「カブクワこれくしょん」では、たくさんの標本や生体を展示しながら、カブトムシ・クワガタムシの多彩さやその魅力について、かわいいクワ娘(くわむす)たちが紹介していくよ！ お楽しみに！

—最強の特別展—

カブクワ これくしょん

日本と世界のカブトムシ・クワガタムシ大集合！

7月16日(水)～8月31日(日) 9:30～16:30(入館は16:00まで)
火曜休(8月12日、19日は開館) 一般400円、中高生200円、3才～小学生100円

※伊丹市昆虫館は9月1日～10月2日まで、工事のため休館させていただきます。

虫たちがもっと身近になる

伊丹市昆虫館

昆陽池 3-1 ☎072-785-3582

8/2(土)、3(日)

「町家で絵本展～夏休みの1日、親子で遊ぼう～」

伊丹郷町館



手づくり絵本の展示、折り紙、六角形絵本づくり、カルタ取りなどをみんなで楽しく遊びます。赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまで江戸の町家でほっこりした一日をお過ごしください。

町家で絵本展

8/2(土)、3(日)。10:00～17:00。入場無料。ワークショップもあり。
内容:「かんたんスライド絵本」8/3(日)13:00～16:00。要申込。
参加無料。定員15名(小3以下は要保護者同伴)。072-772-5959

9/6(土)～9/28(日)

香りをジュエリーに置き換えること～

工芸センター



「香りが人となり、香りが空間になる。装置としてのジュエリー」彫金、木工、陶芸など様々なジャンルの作家が「香りのジュエリー」をテーマに制作しました。香りをどのようにとらえ、ジュエリーに置き換えるか、個性あふれる作家の発想をお楽しみください。

香りのジュエリー展～身体と空間のための～

9/6(土)～9/28(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。
月休(祝日の場合、翌日休)無料。072-772-5557

9/12(金)

鈴虫音楽堂～二胡とチェロの響き

伊丹アイフォニックホール



今年の鈴虫音楽堂では、儂げな美しい音色の楽器二胡が登場。北京で学んだ二胡奏者鳴尾牧子さんがチェロの重松涼子さんと共に、「蘇州夜曲」や「見上げてごらん夜の星を」、「シルクロードのテーマ」などをお届けします。

<鳴く虫と郷町関連企画>「貸切!変身!鈴虫音楽堂」

9/12(金)19:00。無料。072-780-2110

プレビュー

※イベントにより、未就学児の入場の制限等がある場合がございます。
詳細は各施設にお問い合わせください。

9/19(金)

秋の夜長はいたみ寄席で大笑い!

いたみホール



桂米二 桂南天

毎回好評を得ている「いたみ寄席～座敷で楽しむ、生活落語～」大ホールの公演とは趣の違う落ち着いた和室を会場に、間近で落語の醍醐味を味わえる公演です。出演は、桂米二、桂南天、桂米紫、桂佐ん吉、桂あおば。

<鳴く虫と郷町関連企画>

「桂米朝一門「いたみ寄席」～座敷で楽しむ、生活落語～」

9/19(金)18:30、1,800円(当日200円増)。
全席自由(イス席あり)。定員100名。072-778-8788

9/20(土)、21(日)

劇場の裏側で謎解きゲーム!?

アイホール



ドキッとしたり、ハッとひらめいたり!参加者自らが劇場内に隠されたヒントを見つけ出して謎を解き、「何か」を探る劇場体験型ナゾ解きゲームです。必要なのは、みなさんの勘やセンス、そして推理力。さあ、この日の主人公は、あなたです。

「地域とつくる舞台」シリーズ「AI・HALL the ツアー」

9/20(土)、21(日)。おとな2,000円、こども1,000円。
072-782-2000

9/23(火・祝)

世界的バンドネオン奏者小松亮太が贈るタンゴ

伊丹アイフォニックホール



ピアノラの「リベルタンゴ」やロドリゲス「ラ・クンバルシータ」などタンゴの名曲から、「THE 世界遺産」オープニングテーマ曲まで。世界的バンドネオン奏者小松亮太の5人組ユニットが贈る珠玉のタンゴ。

小松亮太 with ラスト・タンゴ・センセーションズ

9/23(火・祝)15:00。全席指定4,000円(当日500円増)。
072-780-2110

開催中～7/13(日)

守り伝えられてきた芭蕉布をご覧あれ!

工芸センター



沖縄を代表する染織物の芭蕉布は、琉球王朝時代に王家の衣装や庶民の普段着にまで広く使われていました。今回、新作はもちろんのこと、過去に実際に使用されていた歴史ある芭蕉布を一堂に展示。何百年も守り伝えられてきた芭蕉布の魅力、素晴らしさを感じてください。

沖縄/喜如嘉・芭蕉布今昔展

6/14(土)～7/13(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。
月休(祝日の場合は翌日休)。無料。072-772-5557

7/16(水)～8/31(日)

虫にふれる夏、はじまる

伊丹市昆虫館



夏の人気コーナーが今年も登場。チョウの幼虫やナナフシ、カブトムシなどの昆虫とふれあえます。スタッフから虫にやさしいさわり方、人に安全なもちかたを教わることができるので、初めての人も安心。屋外で虫を見つける楽しみがふえます!

プチ展示「昆虫ふれあいコーナー」

7/16(水)～8/31(日)。9:00～16:30(入館は16:00まで)。火休(祝日の場合、翌日休)。大人400円、中学生200円、3歳～小学生100円。072-785-3582

7/19(土)～8/17(日)

「京団扇」で優しい風を感じて

工芸センター



伝統工芸品「京団扇」を様々な分野で活躍中のデザイナー82人がデザイン。優しい風を起こす団扇は、人にも環境にも優しい道具です。団扇の素晴らしさや奥深さを感じ、現代の感性との融合をお楽しみください。画家「小貴政之助」の作品展も同時開催いたします。

「京団扇・日本の風展」小貴政之助作品展

7/19(土)～8/17(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。
月休(祝日の場合、翌日休)。無料。072-772-5557

アイテムおすすめのイベント

7/20(日)

ヴァイオリン・フルート&ピアノで贈る世界の名曲

ラストホール



舞台と客席が一体となり、クラシックを身近に楽しむことで定評のあるコンサート。今回は、バリ在住のフルーティストを迎え、ヴァイオリン、フルート、ピアノによる世界の名曲をお届けします。出演:横山恵理、石橋輝樹、林朋美、お話:足立勝。

いたみアーベントコンサート Vol.82

7/20(日)14:00。一般1,600円、高校生以下・60歳以上1,200円
(当日一般400円増、高校生以下・60歳以上300円増)。072-781-8877

7/21(月・祝)

バレエ名場面を集めたガラ公演!

いたみホール



名門キエフ・バレエのプリマ、実力派ソリスト達が出演し、優美な群舞が華やかに彩る夢の舞台。「白鳥の湖」「くるみ割り人形」など名作バレエのハイライトを披露。バレエの魅力が凝縮した見応えあるステージを。

キエフ・バレエ～華麗なるクラシックバレエ・ハイライト～
タラス・シェフチェンコ記念ウクライナ国立バレエ

7/21(月・祝)14:00。6,000円。全席指定。072-778-8788

7/27(日)

ピンポン玉がもし生きていたら?

アイホール



舞台いっぱい飛び跳ねるカラフルなピンポン玉、お話の楽しさをさらにふくらませる生演奏の音楽、思わず見とれてしまうダンス…好奇心を刺激する、こどもも大人も楽しめる作品です。どうぞご期待ください。

「みんなの劇場」こどもプログラム「ピン・ボン」

7/27(日)11:00/14:00。おとな1,500円、こども500円(当日各300円増)。
072-782-2000